

NPO法人園芸療法研究会西日本

NEWS LETTER 'HANATOWA'

はなとわ

2018年7月1日発行
H.T.W. NEWS 通巻第97号
〒664-0831 伊丹市北伊丹3-64-2
TEL&FAX 072-783-8739
URL <http://www.ht-w.org/>
E-mail : info@ht-w.org



目次	
P-1 第6回定期総会報告	P-10,11 インドネシア・ジャワ島の今昔物語 第13回 インドネシアでの家族の生活環境⑤ 園芸療法 Q&A 第2回
P-2,3 総会特別講演会報告「園芸療法と出会って35年」/ 第13回登録園芸療法士認定試験に合格して	P-12,13 インドネシアの社会福祉施設と「農福連携」
P-4,5 研究・実践発表「オリジナルの個別訓練として、園芸で笑顔をとれどもどす」	P-14 ねっとわーく情報「第11回日本園芸療法学会大阪大会」開催のご案内
P-6,7 園芸療法のマネージメント 第31回 自己決定とは何だろうか	P-15 ねっとわーく情報「塚脳損傷協会研修会のご案内」
P-8,9 楽しい園芸療法の実践を目指して 第21回	P-16 予定表/事務局日より

第6回定期総会報告

中西 保太郎 (NPO 法人園芸療法研究会西日本副理事長)

2018年6月16日(土)、八幡屋公園大阪プール会議室6にて、第6回定期総会が開催されました。出席会員は26名、委任状参加は29名、計55名で無事開催・成立となりました。議長には宮上佳江理事長が選任され、議長一任により議事録署名人として能崎忍氏、尾崎健司氏が指名されました。議案について、2017年度事業報告・決算報告および会計監査報告に引き続き、2018年度事業計画案、活動予算案および役員選任の説明がなされ、審議に入りました。

2017年度事業報告は、広報事業ではニュースレターの発行、園芸療法講座事業は第7期の開講、講師派遣事業はアメニティーホーム夢野、兵庫県精神科病院協会OT部会、その他事業として理事会・実行委員会・総会の開催、遊山の会、各種イベントへの参加、大阪河崎リハビリテーション大学との第5回園芸療法・園芸福祉実践勉強会共催などでした。

2017年度決算は、収入では助成金および広報事業、園芸療法講座等が目標額に届かず、支出は予算内に抑えることができましたが、当期剰余金が約26万円の欠損となり、次期繰越金は約14万円となりました。

2018年度事業計画案では、宮上理事長より来年度の実施方針として、本会設立の原点である園芸療法・園芸福祉の活動を支える実践者をつなぎ、情報を共有し、ともに学び切磋琢磨できる場をつくる市民活動の『原点回帰』と、志を同じくする者が集まる場での『交流』をテーマとすると説明がありました。

総会出席者からは、「園芸療法講座の広報が不十分では」、「ハードルを下げてもっと一般の方向けの講座や多様な催しを開催し、園芸や植物に興味関心をもってもらいたい」といった意見がありました。

理事の改選では、伊藤壽三枝理事、片岡美穂理事、高木哲次理事、村田靖子理事より辞任の申し出があり、新たに、公文敦氏、上阪憲征氏、能崎忍氏が理事に就任する案が承認されました。

2018年度活動予算案では、会員数や講座受講生の減少による収入減が予想され、支出を昨年度よりもさらに抑えるために、園芸療法講座運営費の講師や会場の見直しおよび事務局の人件費を削減することで、当期剰余金12万円を計上する案が承認されました。今後、事務局運営における無償ボランティアや会員の協力等の課題について対応していかなければなりません。

総会の前に行われた第18回研究・実践発表では、加藤美由紀氏が職場の介護老人保健施設で認知症と精神疾患を併発している症例Aさんに対して園芸療法を実施した「認知症高齢者の園芸療法～Aさんとの関わりを通して～」、能崎忍氏が職場のデイサービスで高次脳機能障害の利用者に対して独自に創作した個別訓練を実施した「オリジナルの個別訓練として、園芸で笑顔をとれどもどす」、岡室有紀氏が急性期病院のデイケアでの園芸療法プログラム実践の振り返り「デイケアにおける園芸療法の実践」、青木弘美氏が介護老人保健施設のセンテナリアン(百歳以上の人)に対する園芸療法の事例「介護老人保健施設における園芸療法～センテナリアンの活動事例～」について発表があり、活発な質疑応答、意見交換の場となりました。



総会風景